

一一五〇番

住吉すみのえの岸きしに家いへもが 沖おきに辺へに 寄よする白波しらなみ 見み
つつしのはむ

一一五一番

大伴おほともの三津みつの浜辺はまへを うち曝さらし 寄よせ来くる波なみの
行ゆくへ知しらずも

一一五二番

梶かぢの音おとそ ほのかにすなる 海人あまをとめ娘子おき 沖おきつ藻刈もか
りふなでに 舟出ふなですらしも

一一五三番

住吉すみのえの 名児なごの浜辺はまへに 馬立うまたてて 玉拾たまひりひしく
常忘つねわすらえず